



株式会社 **ニコン**
経営戦略本部
広報・IR部

2015年3月期 決算説明会

2015年5月14日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。
従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

I . 2015年3月期の概況

II . 2016年3月期の見通し

III . 参考データ

2015年3月期 ポイント

- ◆会社全体では前年比 13%減収、31%営業減益。
前回予想に対しては、売上はほぼ達成、営業利益は 21%上振れ、
当期利益は固定資産減損により未達成。

【精機】

半導体・FPD露光装置ともに販売台数減少により、前年比 17%減収、
59%減益。前回予想に対しては、売上高・営業利益とも達成。

【映像】

中国・欧州市場の回復遅れにより、前年比 15%減収、12%減益。
営業利益率は、前年(9.4%)および前回予想(9.0%)を上回る 9.7%を達成。

【インストルメンツ】

売上高・営業利益は、前年比・前回予想比とも上回り、黒字化達成。

- ◆主に半導体装置事業における固定資産の減損実施により、162億円を
特別損失に計上。
- ◆期末配当金は22円、年間配当金は32円。

2015年3月期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	15年3月期 実績	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比
売上高	9,805	$\frac{4,704}{5,101}$	8,600	$\frac{3,749}{4,851}$	8,577	$\frac{3,749}{4,828}$	▲1,228	▲ 23
営業利益 売上高比	629 6.4%	$\frac{219}{410}$	360 4.2%	$\frac{130}{230}$	434 5.1%	$\frac{130}{304}$	▲ 195	+ 74
経常利益 売上高比	617 6.3%	$\frac{200}{417}$	370 4.3%	$\frac{147}{223}$	463 5.4%	$\frac{147}{316}$	▲ 154	+ 93
当期純利益 売上高比	468 4.8%	$\frac{136}{332}$	200 2.3%	$\frac{100}{100}$	183 2.1%	$\frac{100}{83}$	▲ 285	▲ 17
FCF	709		220		463		▲ 246	+ 243
為替 ドル	100円	$\frac{99円}{102円}$	109円	$\frac{103円}{115円}$	110円	$\frac{103円}{117円}$	売上高への影響 + 341 + 11	
ユーロ	134円	$\frac{130円}{139円}$	139円	$\frac{139円}{139円}$	139円	$\frac{139円}{138円}$	営業利益への影響 + 40 ▲ 7	

前回予想比、営業利益は 21%増だが、減損による特別損失計上のため、当期純利益は 9%減。

2015年3月期 精機事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



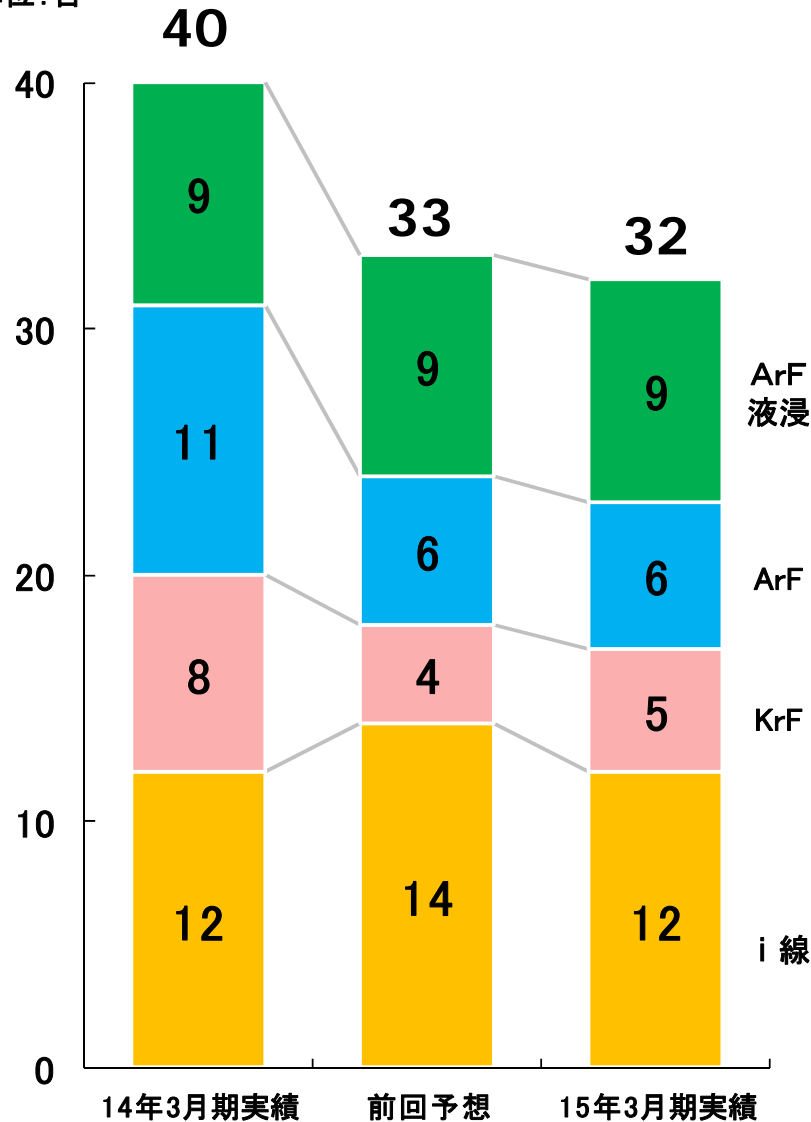
単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	15年3月期 実績	上期 下期
売上高	2,054	$\frac{798}{1,256}$	1,700	$\frac{549}{1,151}$	1,707	$\frac{549}{1,158}$
営業利益 売上高比	200 9.7%	$\frac{37}{163}$	80 4.7%	$\frac{\blacktriangle 32}{112}$	83 4.9%	$\frac{\blacktriangle 32}{115}$
半導体露光装置 新品/中古	32/8台	$\frac{10/2}{22/6}$	19/14台	$\frac{5/1}{14/13}$	19/13台	$\frac{5/1}{14/12}$
FPD露光装置	56台	$\frac{35}{21}$	34台	$\frac{13}{21}$	34台	$\frac{13}{21}$

前年比、FPD露光装置が大幅に減少、17%減収、59%減益。
前回予想比、売上高・営業利益とも達成。

2015年3月期 精機事業

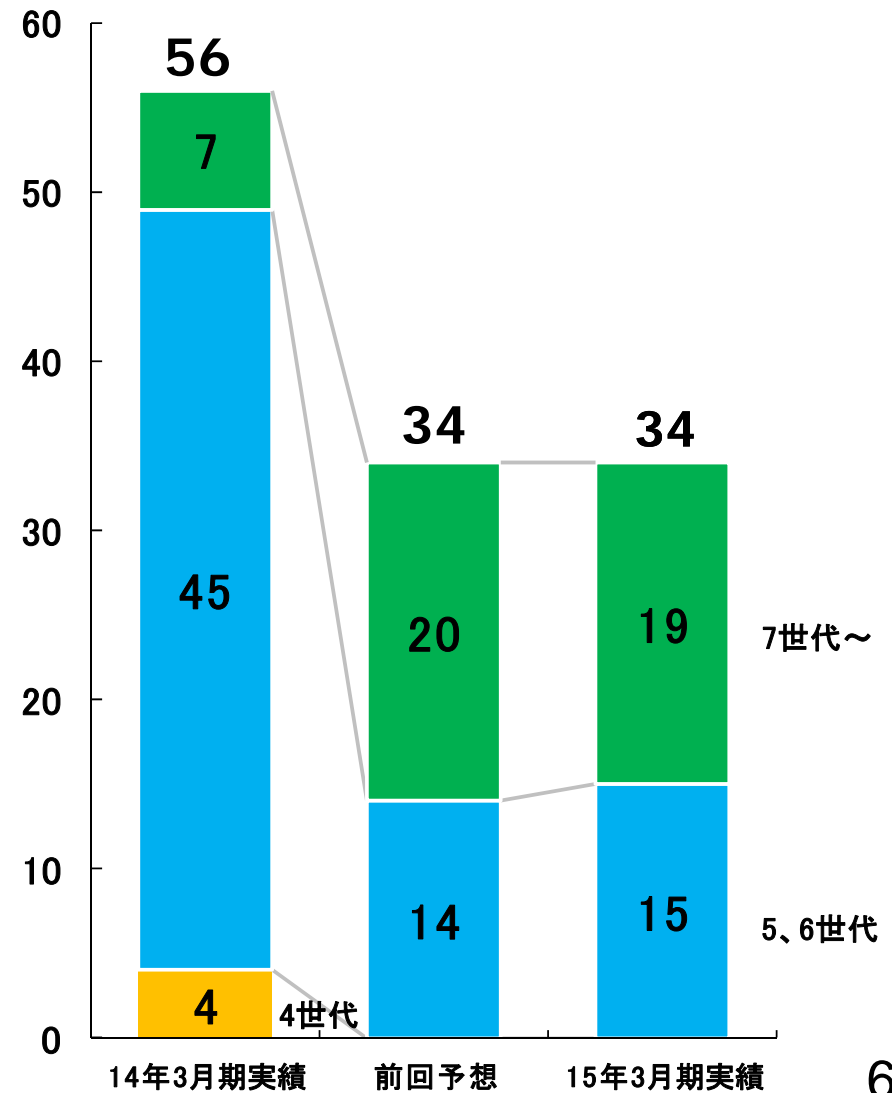
半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)

単位:台



FPD露光装置世代別販売台数

単位:台



2015年3月期 映像事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	15年3月期 実績	上期 下期
売上高	6,854	$\frac{3,525}{3,329}$	5,900	$\frac{2,774}{3,126}$	5,860	$\frac{2,774}{3,086}$
営業利益 売上高比	642 9.4%	$\frac{309}{333}$	530 9.0%	$\frac{275}{255}$	566 9.7%	$\frac{275}{291}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	575万台	$\frac{298}{277}$	465万台	$\frac{218}{247}$	461万台	$\frac{218}{243}$
交換レンズ	823万本	$\frac{420}{403}$	675万本	$\frac{309}{366}$	668万本	$\frac{309}{359}$
コンパクト デジタルカメラ	1,116万台	$\frac{580}{536}$	750万台	$\frac{357}{393}$	769万台	$\frac{357}{412}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,678万台		1,370万台		1,357万台	
交換レンズ 市場規模	2,628万本		2,200万本		2,262万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	4,118万台		2,800万台		2,803万台	

前年比、減収減益。前回予想比、レンズ交換式カメラ・交換レンズの販売台数および売上高は若干未達だが、営業利益は上振れ。

2015年3月期 インストルメンツ事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



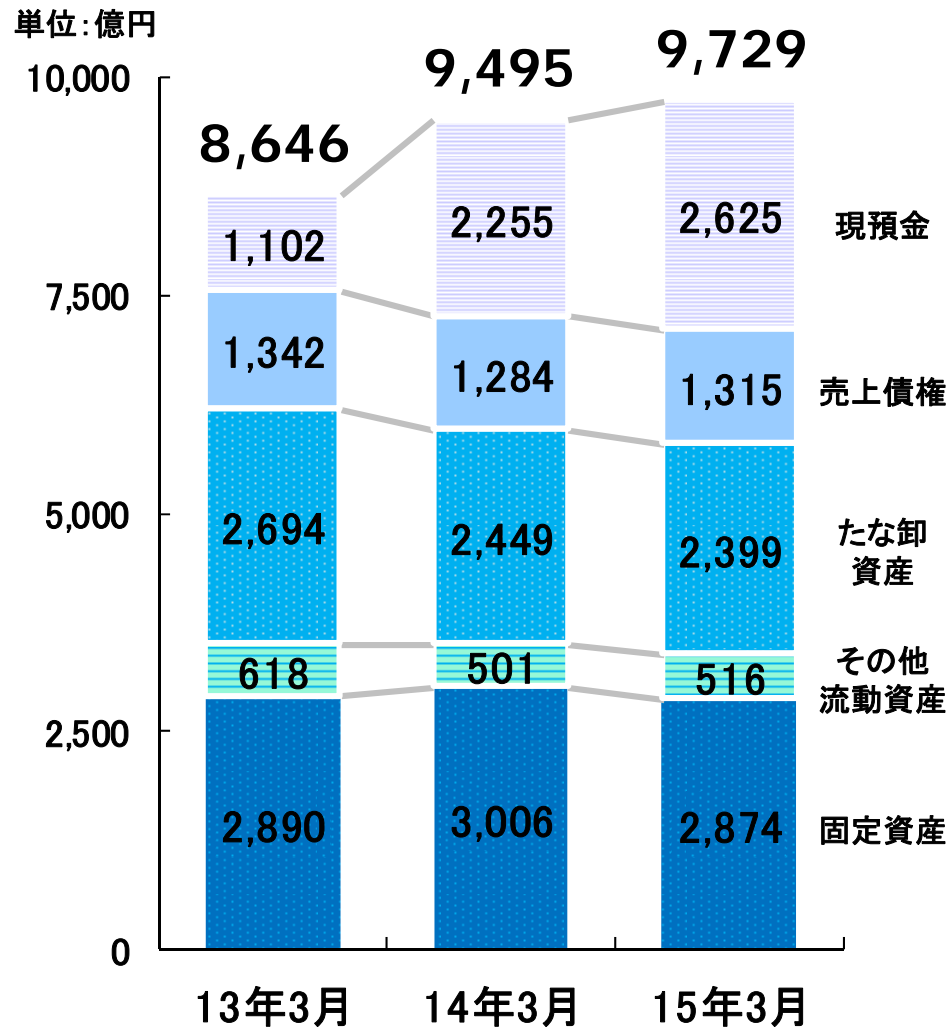
単位: 億円	14年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/5)	上期 下期	15年3月期 実績	上期 下期
売上高	647	$\frac{260}{387}$	700	$\frac{285}{415}$	723	$\frac{285}{438}$
営業利益 売上高比	▲21 —%	▲ $\frac{34}{13}$	10 1.4%	▲ $\frac{21}{31}$	11 1.5%	▲ $\frac{21}{32}$

MS事業・産業機器事業とも、前年比・前回予想比で増収。
黒字化を達成。

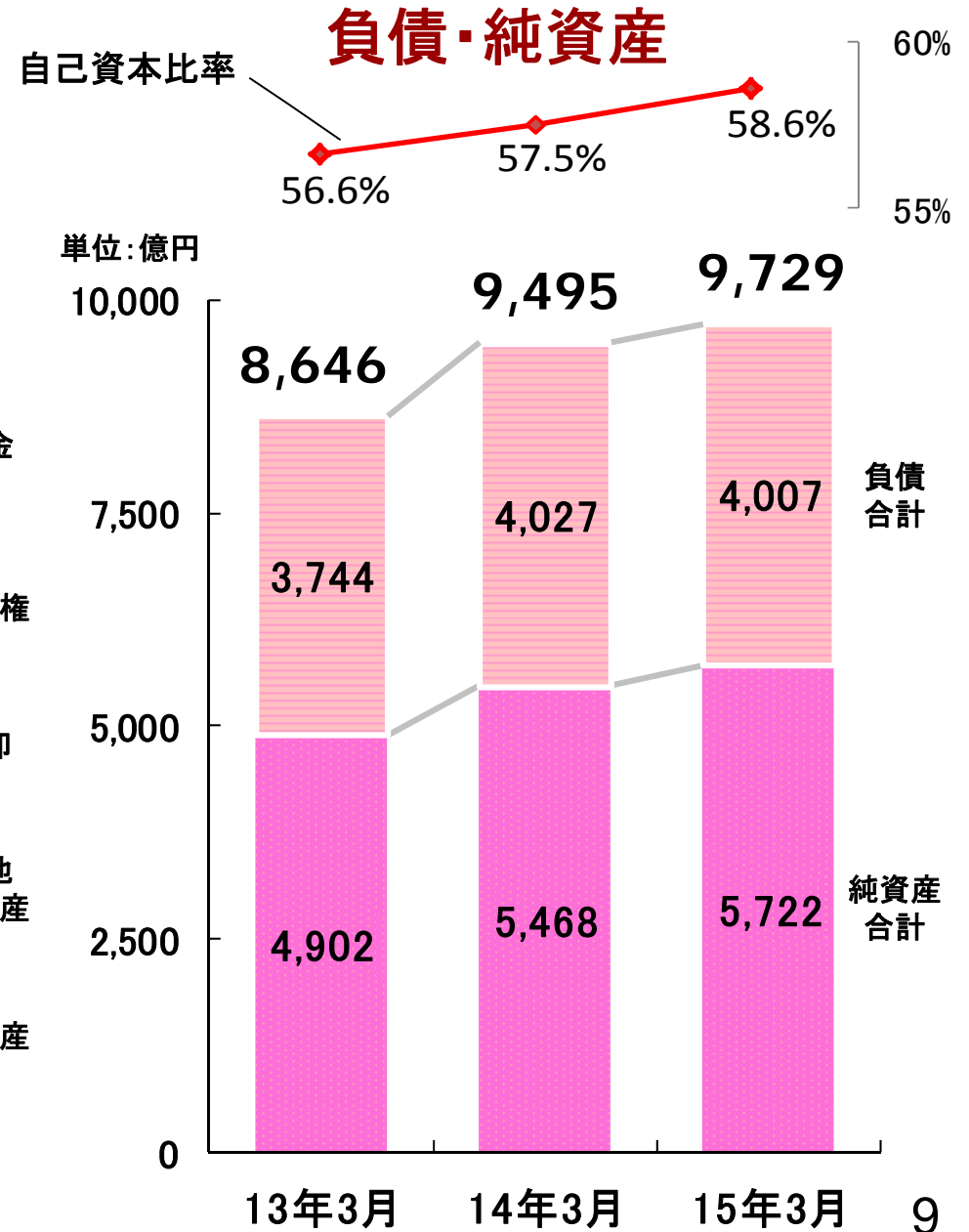
2015年3月期 B/S内訳



資産



負債・純資産

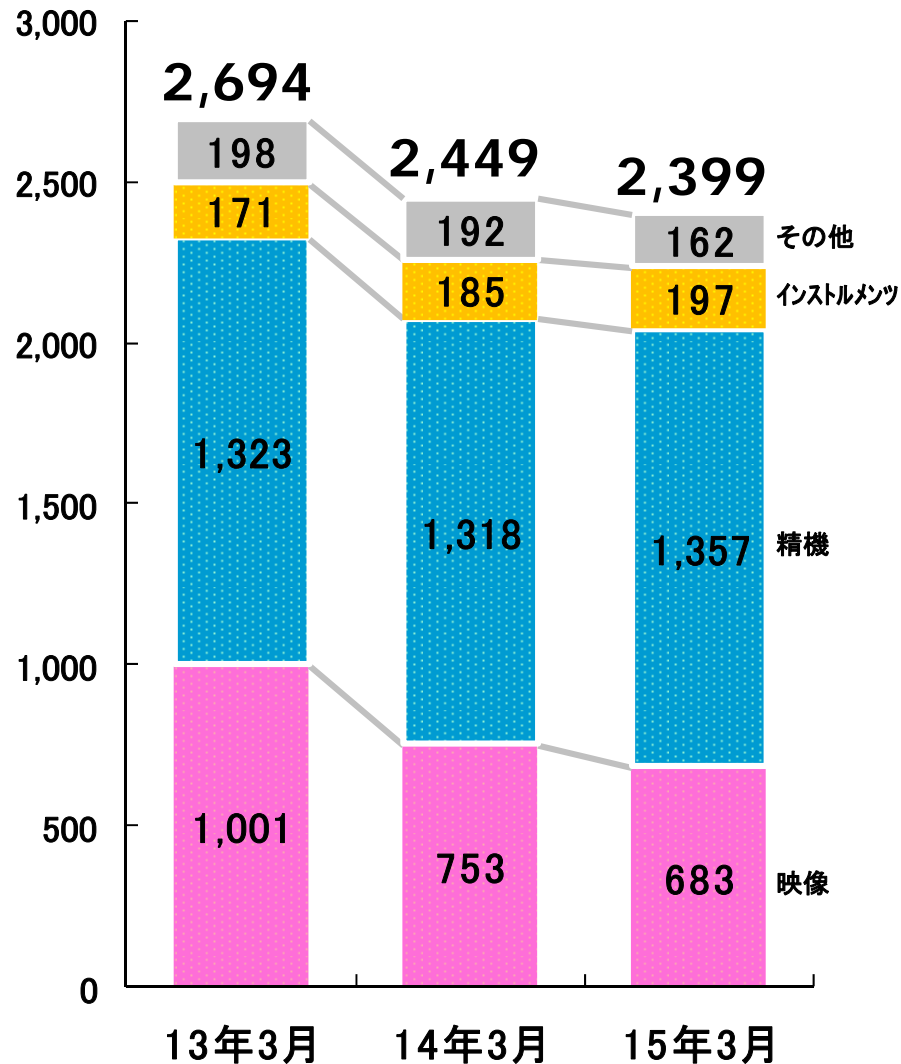


2015年3月期 棚卸資産 現預金・有利子負債



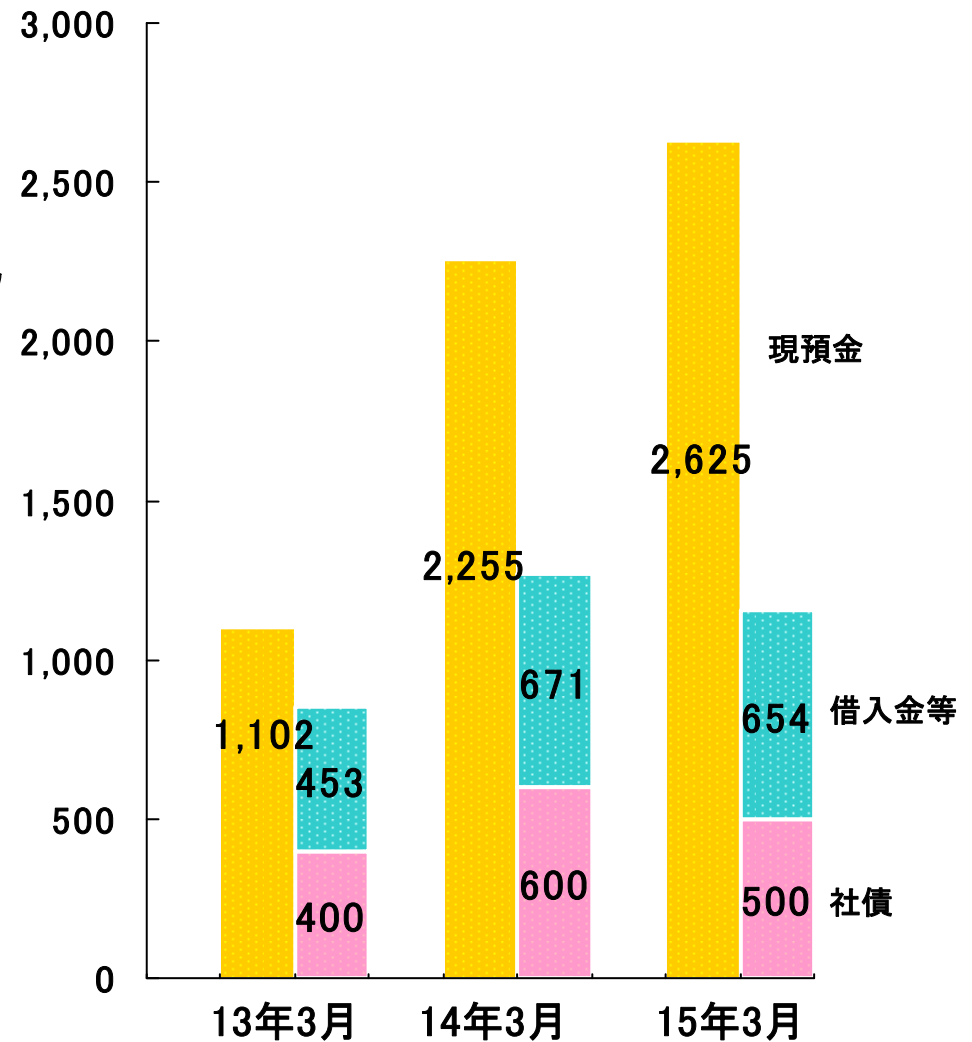
棚卸資産

単位: 億円



現預金・有利子負債

単位: 億円



I . 2015年3月期の概況

II . 2016年3月期の見通し

III . 参考データ

2016年3月期 見通しポイント

◆**精機・インストルメンツ事業は増収増益、映像事業は減収減益。**
会社全体では、売上高はほぼ横ばい、31%営業減益の見通し。

【精機】

ArF液浸スキャナー・5-6世代FPD露光装置の販売台数増加を見込む。
精機事業全体で、23%増収、営業利益は2.4倍に増える見通し。

【映像】

市場環境は引き続き厳しいが、今後の成長のための経費投入は継続。
前年比 10%減収、33%減益の見通し。

【インストルメンツ】

MS事業・産業機器事業とも増収増益。
インスト事業全体で、11%増収、営業利益はほぼ倍増の見通し。

【メディカル】

売上高 150億円、営業損失 ▲60億円の見通し。
Optos社買収の実現(5月予定)。

◆年間配当金は 16円(中間配当金 8円)を予定。
総還元性向は 30%以上を基本方針とする。

2016年3月期 見通し 連結売上高・損益

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 実績	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期	前年実績比
売上高	8,577	$\frac{3,749}{4,828}$	8,600	$\frac{3,740}{4,860}$	+ 23
営業利益 売上高比	434 5.1%	$\frac{130}{304}$	300 3.5%	$\frac{20}{280}$	▲ 134
経常利益 売上高比	463 5.4%	$\frac{147}{316}$	330 3.8%	$\frac{40}{290}$	▲ 133
当期純利益 売上高比	183 2.1%	$\frac{100}{83}$	200 2.3%	$\frac{10}{190}$	+ 17
FCF	463		▲ 100		▲ 563
為替 ドル	110円	$\frac{103円}{117円}$	115円		売上高への予想影響額 約 95 億円
ユーロ	139円	$\frac{139円}{138円}$	130円		営業利益への予想影響額 約 ▲ 34 億円

映像事業の減収減益の影響により、売上高はほぼ横ばい、営業利益は 31%減、当期純利益は 9%増の見通し。

2016年3月期 見通し 精機事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位：億円	15年3月期 実績	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	1,707	$\frac{549}{1,158}$	2,100	$\frac{700}{1,400}$
営業利益 売上高比	83 4.9%	$\frac{\blacktriangle 32}{115}$	200 9.5%	$\frac{\blacktriangle 20}{220}$
半導体露光装置 新品／中古	19/13台	$\frac{5/1}{14/12}$	23/15台	$\frac{3/9}{20/6}$
FPD露光装置	34台	$\frac{13}{21}$	50台	$\frac{19}{31}$
半導体露光装置 市場規模 CY14/15	195台		200台程度	
FPD露光装置 市場規模 CY14/15	54台		75台程度	

中小型高精細パネル向け投資回復により、FPD露光装置の販売台数が大幅に増加。
半導体露光装置では、ArF液浸スキャナーの販売台数が増加。
事業全体では、売上高が393億円、営業利益が117億円増える見通し。

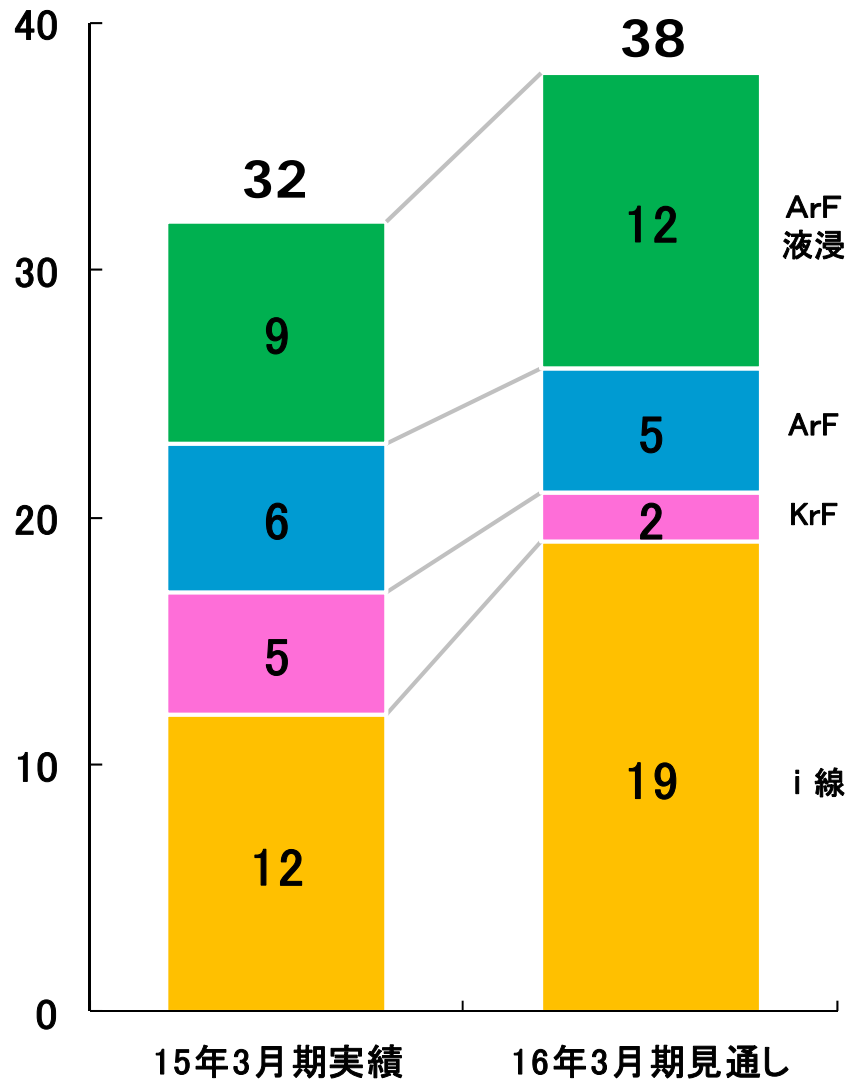
2016年3月期 見通し 精機事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



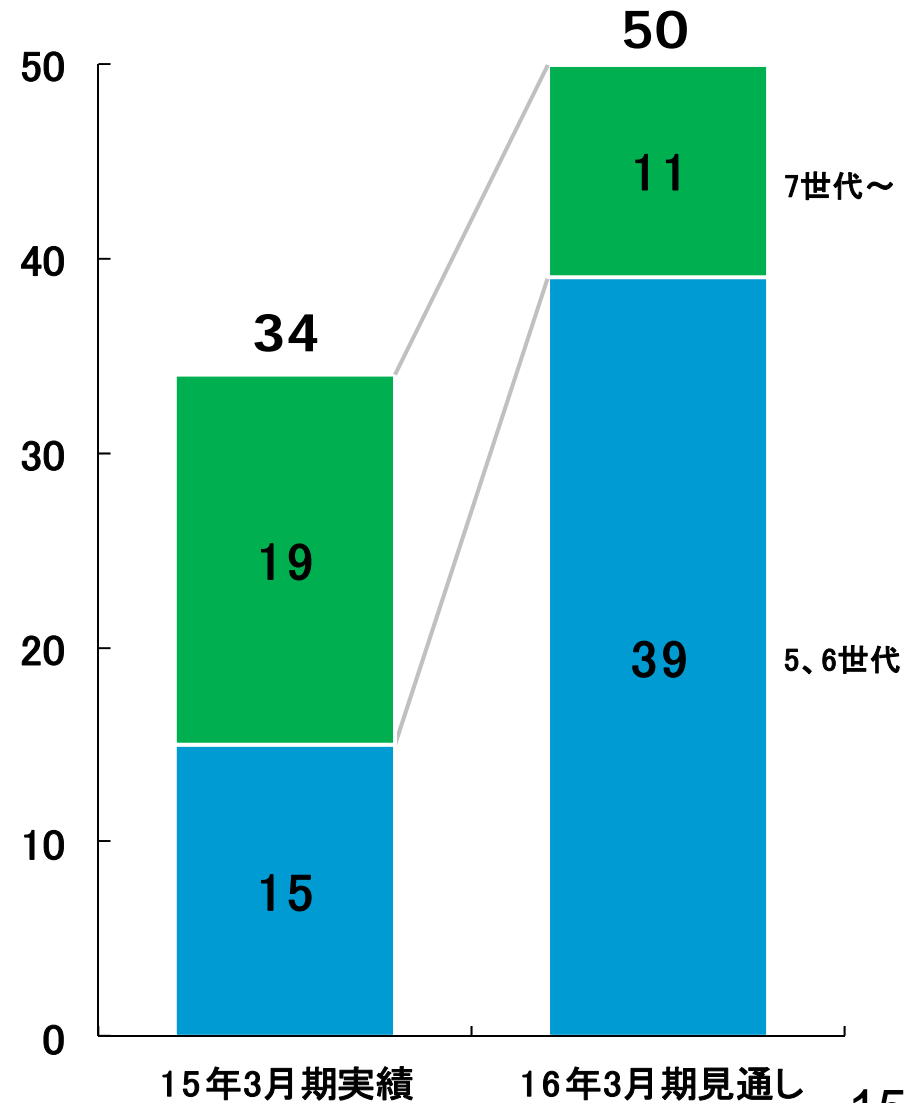
半導体露光装置光源別販売台数(中古含む)

単位:台



FPD露光装置世代別販売台数

単位:台



2016年3月期 見通し 映像事業

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 実績	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,860	$\frac{2,774}{3,086}$	5,250	$\frac{2,550}{2,700}$
営業利益 売上高比	566 9.7%	$\frac{275}{291}$	380 7.2%	$\frac{180}{200}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	461万台	$\frac{218}{243}$	425万台	$\frac{205}{220}$
交換レンズ	668万本	$\frac{309}{359}$	610万本	$\frac{295}{315}$
コンパクト デジタルカメラ	769万台	$\frac{357}{412}$	600万台	$\frac{290}{310}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,357万台		1,240万台	
交換レンズ 市場規模	2,262万本		2,060万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	2,803万台		1,920万台	

市場は縮小するが、新興国市場開拓、ブランド強化、研究開発など、将来の成長のための経費投入は継続。10%減収、33%減益の見通し。

2016年3月期 見通し インストルメンツ事業

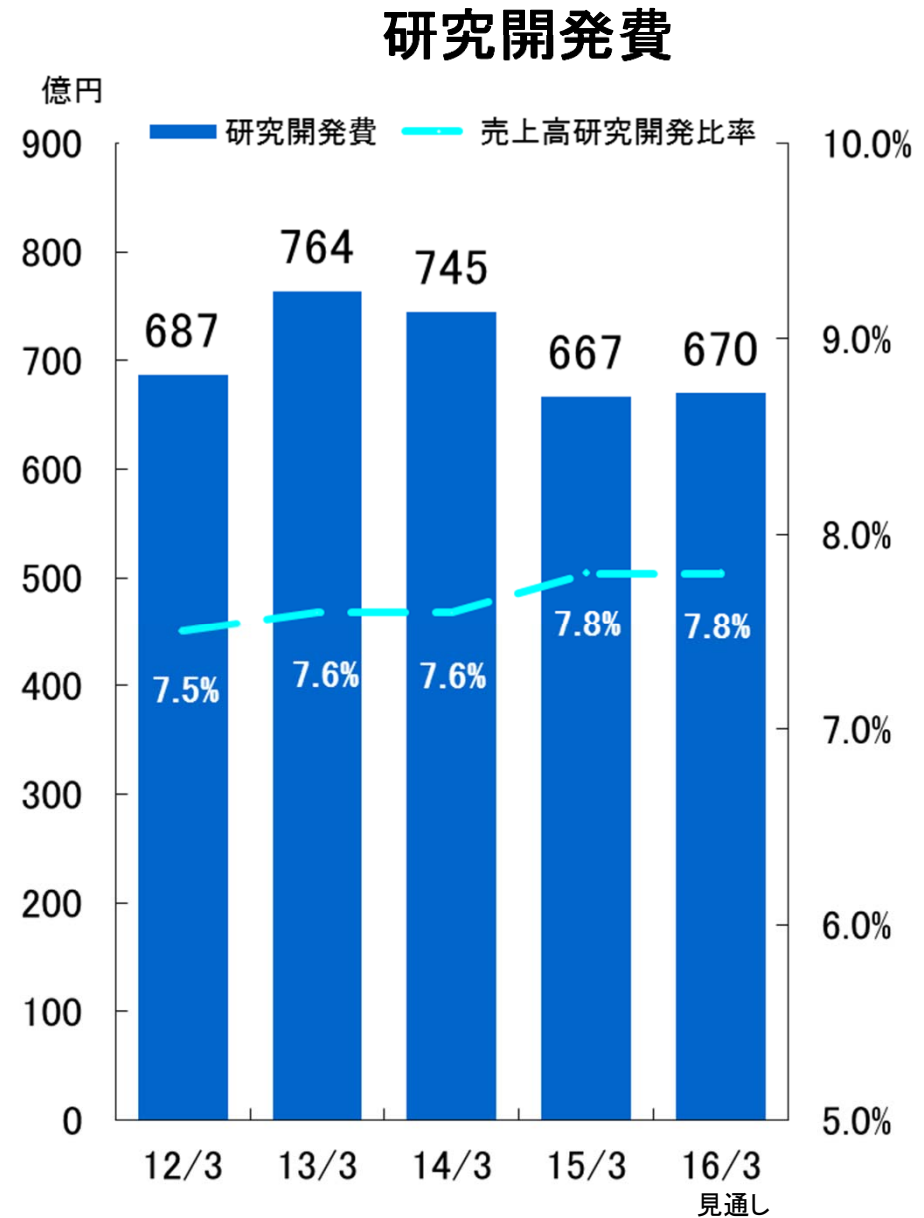
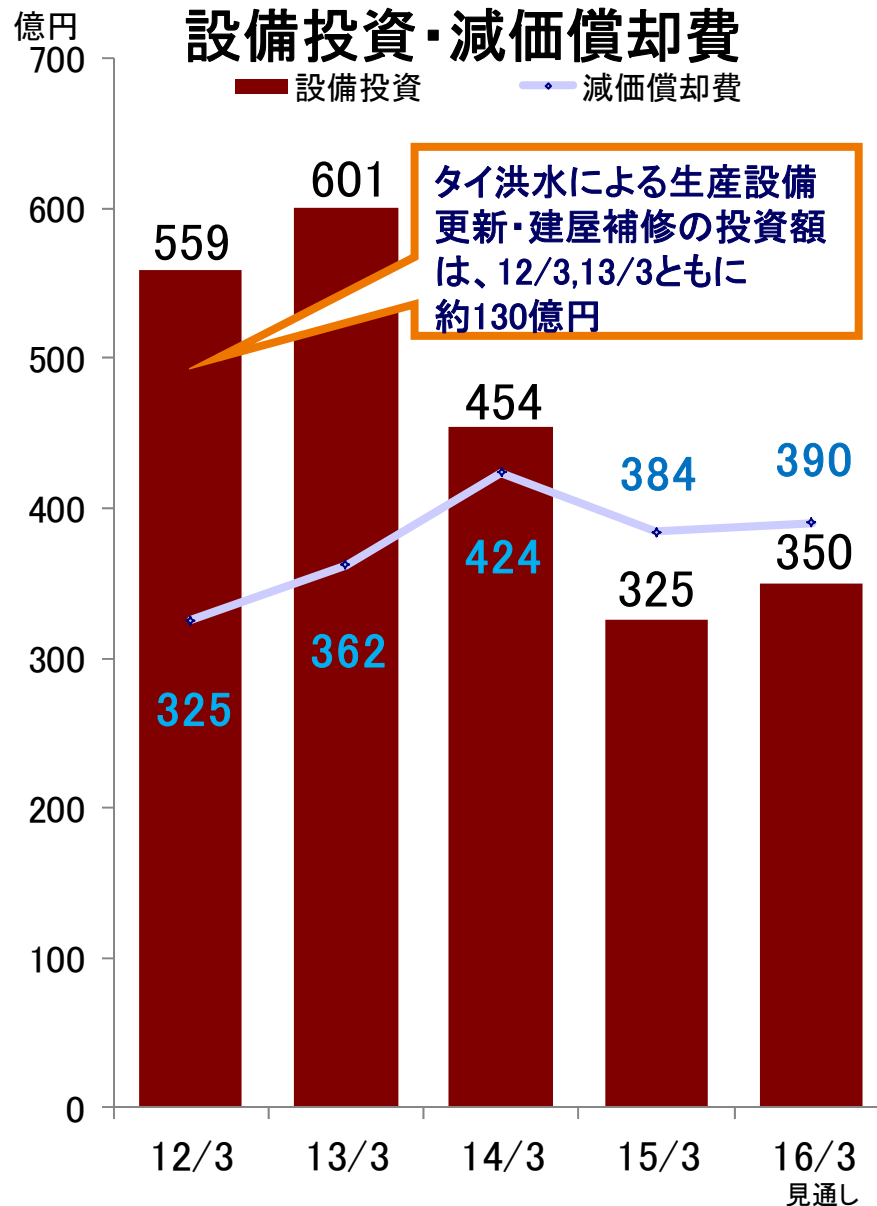
株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



単位: 億円	15年3月期 実績	上期 下期	16年3月期 見通し	上期 下期
売上高	723	$\frac{285}{438}$	800	$\frac{320}{480}$
営業利益 売上高比	11 1.5%	$\frac{\blacktriangle 21}{32}$	20 2.5%	$\frac{\blacktriangle 15}{35}$

MS事業では、公共予算回復の日本、アジア、米州で売り上げを伸ばし、産業機器事業では、電子部品・半導体・自動車関連製品の販売を日米で伸ばす。インスト事業全体では、11%増収。営業利益はほぼ倍増の見通し。

2016年3月期 見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費



* 2015年3月期より、ニコングループの減価償却方法を定額法に統一

I. 2015年3月期の概況

II. 2016年3月期の見通し

III. 参考データ

参考データ 為替の影響

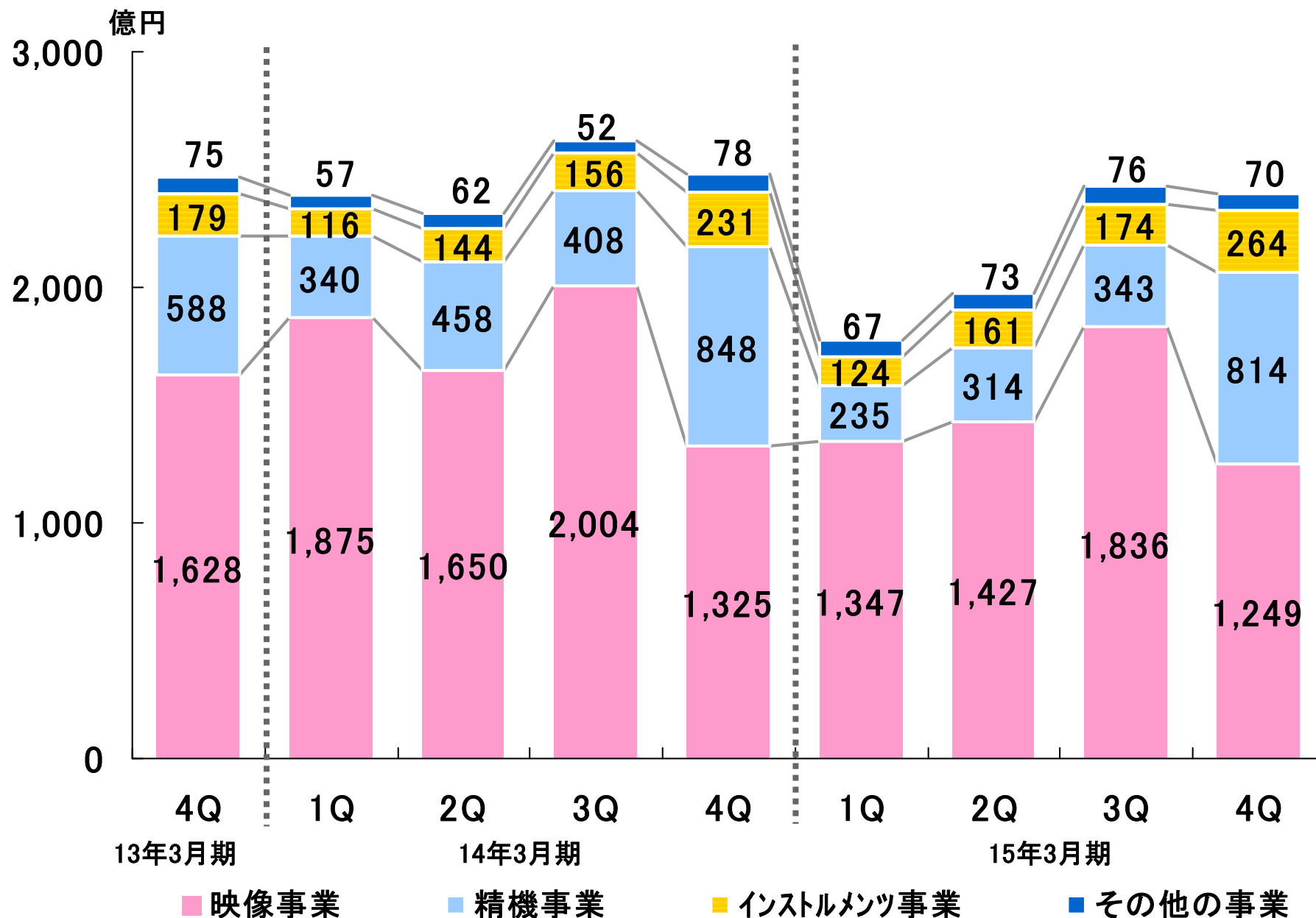
株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



2016年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	16年3月期 前提	売上高	営業利益
USDドル	115 円	約 37 億円	約 4 億円
ユーロ	130 円	約 10 億円	約 6 億円

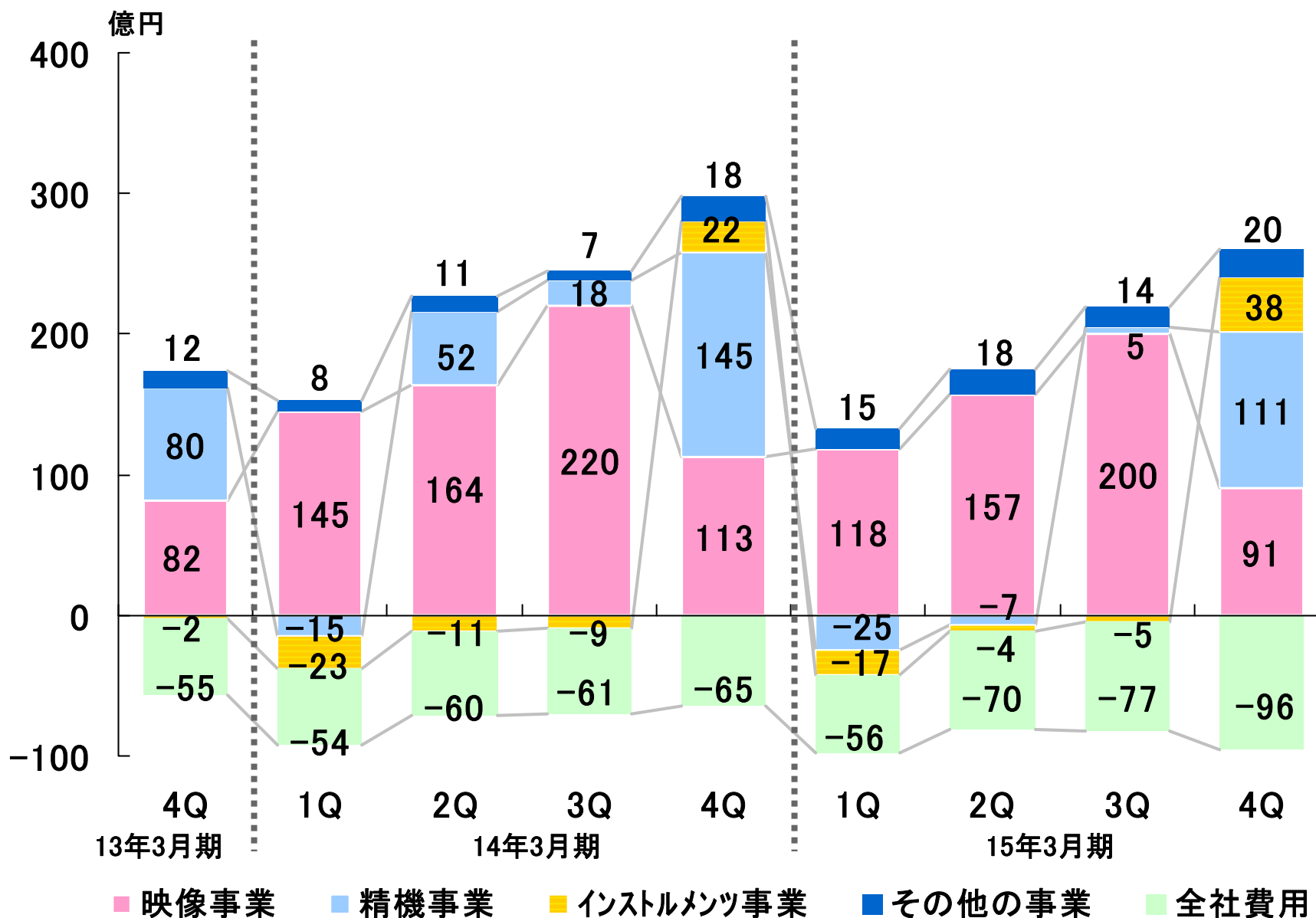
参考データ 四半期セグメント別売上高推移



* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移

株式会社ニコン
経営戦略本部
広報・IR部



* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



NIKON CORPORATION